

## 質問箱

### 日本には活火山がいくつありますか

“会員 高次さんの質問から”

石川県自然解説員研究会 山下光信

高次さんから「日本にいくつ活火山があるの？」と白山研修登山で聞かれました。

それに対して私……

こないだまで「86」だったと思うけど最近また増えたみたい。

今度会う時までには調べときます。

活火山とは、現在も活発な活動が続けている火山のほか、現在の活動は活発でなくても将来噴火する可能性があると思われる火山のことをいいます。しかし、私の小学校か中学校の時に習った火山には活火山・休火山・死火山の分類があったはずなのに、いつのまにか変わっています。よくわからなくなったという人はいないでしょうか。以前は、

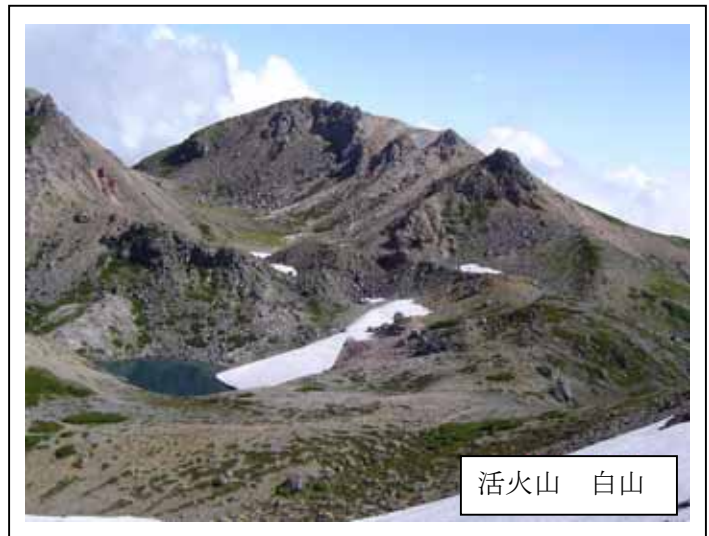
活火山 現在噴火または噴気活動が続けている火山

休火山 現在は活動していないが歴史時代に活動した記録が残っている火山

死火山 歴史時代の活動の記録がない火山

に分類されていました。しかし、火山の寿命に比べて歴史時代の期間が短く、これだけで火山の生死を判定することは難しいので、このような分類は現在されていません。

日本列島の火山の中には、古い書物に活動の記録が残されているものと、そうでないものがあります。活動記録があるということは、それだけ将来活動する可能性が高いといえますが、記録のない火山でも、噴火しないということの意味しているわけではありません。歴史時代に活動記録がない御岳山が、1979年に噴火したのはその良い例です。



そして、ついこの間まで過去2千年以内に噴火した火山及び活発な噴気活動のある火山「86」を活火山としていました。しかし、火山学の発展に伴って、平成15年1月から「概ね過去1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」を新たな活火山の定義にしました。このため現在の活火山の数は全国で「108」となっており、白山もそのひとつになっています。これで、しばらくは活火山の数は変わらないと思いますので観察会等の解説に使って頂ければと思います。

なお、過去に噴火記録があって現在噴火していない火山を指していた休火山や死火山といった用語は、現在使用していません。